

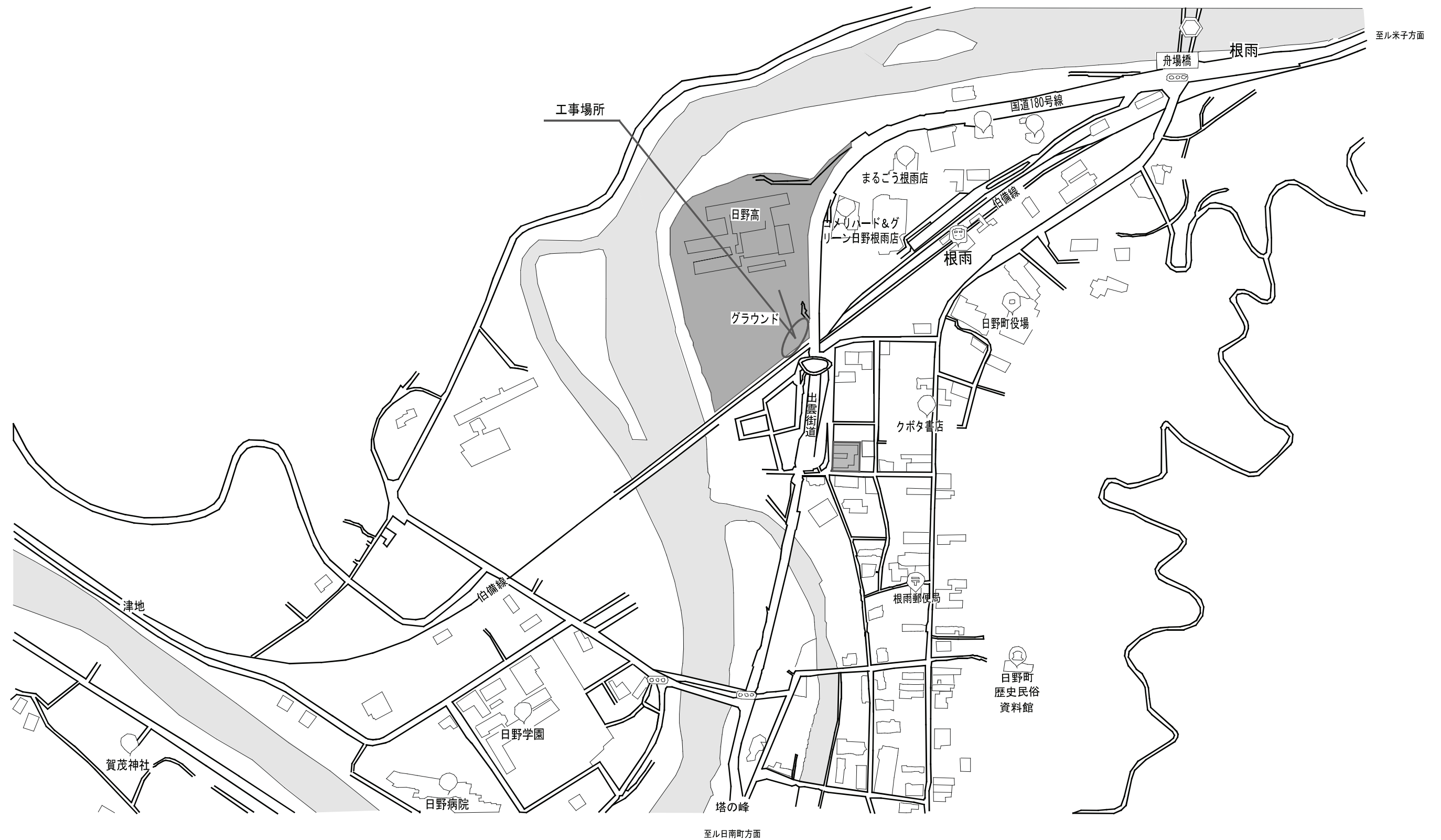
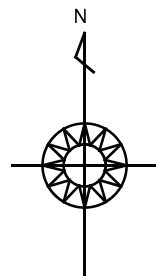
県立日野高等学校根雨校舎グラウンド南東(JR)側フェンス新設工事

目次	
図面番号	図面名称
A-01	表紙・目次
A-02	建築工事仕様書(1)
A-03	建築工事仕様書(2)
A-04	附近見取図
A-05	配置図 工事概要 概略予定工程表
A-06	全体平面図 断面図
A-07	平面図 基礎伏図 立面図
A-08	フェンス(7.12m)詳細図
A-09	フェンス(3.00m)詳細図
A-10	仮設計画図(参考図)



鳥取県
令和8年度
J2600080
西部環境建築局

5	鉄筋工事	1	鉄筋 (5. 2. 1)	<table><tr><th colspan="5">表5. 2. 1</th></tr><tr><th>規格の名称</th><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>異形鉄筋</td><td>※ S0295</td><td></td><td>※ D16以下</td><td></td></tr><tr><td>(鉄筋コンクリート用棒鉄)</td><td>※ S0345</td><td></td><td>※ D19以上</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	表5. 2. 1					規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径 (mm)	備考	異形鉄筋	※ S0295		※ D16以下		(鉄筋コンクリート用棒鉄)	※ S0345		※ D19以上							8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1	補強コンクリートブロック造 (8. 2. 2, 3～5, 7, 8)	<table><tr><th colspan="6">表8. 2. 2</th></tr><tr><th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th><th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th><th colspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">化粧の有無</th><th rowspan="2">適用箇所</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>※空洞ブロック-16</td><td></td><td>・400</td><td>・200</td><td>・無・有</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td></tr></table> モルタルの割合 (容積比) ※ 標準仕様書表8.2.11による ・ (セメント ()) ・ 砂 ()) 各部の配筋 ※ 図示による モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※ 図示による 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ	表8. 2. 2						断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	長さ	高さ	※空洞ブロック-16		・400	・200	・無・有						・無・有		15 左官工事	1	モルタル塗り (15. 3. 2, 5)	モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料 (材料) 既装目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・設けない 床の目地 ・設ける (目地割り ※2 m程度 (最大目地間隔3 m程度) (種類 ※押し目地) ・設けない 外壁タイル張り下地モルタル塗り及び下地調整塗材の接着力試験 ・適用する ・適用しない 建具廻りの等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A 1404「建築用セメント防水剤試験方法」による。 <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>防水剤の種類</td><td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td></tr><tr><td>混合割合</td><td>セメント重量の5%以下</td></tr><tr><td>凝結及び安定性</td><td>(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。</td></tr><tr><td>曲げ及び圧縮強度比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td></tr><tr><td>吸水比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの吸水率 95%以下</td></tr><tr><td>透水性</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの透水性 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10³ Paとし1時間行う。</td></tr></table>	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水率 95%以下	透水性	防水剤を混入したもの、しないものの透水性 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ³ Paとし1時間行う。	16 建具工事	1	防火戸 (16. 1. 3)	・適用する 適用箇所 (※ 建具表による)	17 カーテンウォール工事	1	取付方法、性能等 (17. 1. 3)	取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱、梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式 ・ 性能 耐震性 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 (℃) <table><tr><th>水平方向 (x向)</th><th>垂直方向 (y向)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>・1.0</td><td>・0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・30分</td><td>・80</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・1時間</td><td>・70</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・60</td></tr></table> 耐風圧性 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法	水平方向 (x向)	垂直方向 (y向)							・1.0	・0.5					・30分	・80	・	・					・1時間	・70								・60	18 塗装工事	1	材料 (18. 1. 3)	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	19 内装工事	1	接着剤 (19. 2. 2)	接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示	20 ユニット及びその他の工事	22	フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス (溶融亜鉛めっき) ・アルミフェンス 高さ ● 図示	21 排水工事	1	屋外雨水排水 (21. 2. 1, 2) (表21. 2. 1, 2)	<table><tr><th colspan="5">排水管用材料</th></tr><tr><th>材料種</th><th>種類・記号</th><th>形状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※ 外圧管 (1種)</td><td>・B形管</td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td>・VP</td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・VU</td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・RS-VU [G]</td><td>※図示</td><td></td></tr></table>	排水管用材料					材料種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	※図示		・硬質ポリ塩化ビニル管		・VP	※図示				・VU	※図示				・RS-VU [G]	※図示		22 舗装工事	1	路床 (22. 2. 2～5) (表22. 2. 1)	<table><tr><th colspan="4">路床の材料 (22. 2. 2, 3, 5) (表22. 2. 1)</th></tr><tr><th>種類</th><th colspan="2">材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>標準仕様書 表3.2.1 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td><td></td><td>・図示</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン</td><td>・切込み砂利</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂</td><td></td><td>・図示</td></tr></table>	路床の材料 (22. 2. 2, 3, 5) (表22. 2. 1)				種類	材料		厚さ (mm)	・盛土	標準仕様書 表3.2.1 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]		・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン	・切込み砂利	・図示	・フィルター層	・砂		・図示	23 植栽及び屋上緑化工事	1	植栽地の確認 (23. 1. 3)	土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない	2	植栽基盤の整備 (23. 2. 2, 4)	<table><tr><th rowspan="2">植栽</th><th rowspan="2">工法</th><th colspan="2">有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><th>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)</th><th>樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)</th><th>・葉張り部分</th><th>・適用する</th></tr><tr><td>・樹木</td><td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td><td>樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)</td><td>樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80)</td><td>・植栽部分</td><th>・適用しない</th></tr><tr><td>※芝、地被類</td><td>※B種</td><td>※30</td><td>樹高3m未満 (※50 ・60)</td><td>・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> 植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示) ・設けない	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)		整備範囲	土壌改良材	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)	・葉張り部分	・適用する	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)	樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80)	・植栽部分	・適用しない	※芝、地被類	※B種	※30	樹高3m未満 (※50 ・60)	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない
		表5. 2. 1																																																																																																																																																																																																																						
規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																				
異形鉄筋	※ S0295		※ D16以下																																																																																																																																																																																																																					
(鉄筋コンクリート用棒鉄)	※ S0345		※ D19以上																																																																																																																																																																																																																					
表8. 2. 2																																																																																																																																																																																																																								
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所																																																																																																																																																																																																																			
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																					
※空洞ブロック-16		・400	・200	・無・有																																																																																																																																																																																																																				
				・無・有																																																																																																																																																																																																																				
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																							
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																																																																																																							
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																																																																																																							
凝結及び安定性	(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。																																																																																																																																																																																																																							
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																																																																																																																							
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水率 95%以下																																																																																																																																																																																																																							
透水性	防水剤を混入したもの、しないものの透水性 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ³ Paとし1時間行う。																																																																																																																																																																																																																							
水平方向 (x向)	垂直方向 (y向)																																																																																																																																																																																																																							
・1.0	・0.5					・30分	・80																																																																																																																																																																																																																	
・	・					・1時間	・70																																																																																																																																																																																																																	
							・60																																																																																																																																																																																																																	
排水管用材料																																																																																																																																																																																																																								
材料種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																				
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	※図示																																																																																																																																																																																																																					
・硬質ポリ塩化ビニル管		・VP	※図示																																																																																																																																																																																																																					
		・VU	※図示																																																																																																																																																																																																																					
		・RS-VU [G]	※図示																																																																																																																																																																																																																					
路床の材料 (22. 2. 2, 3, 5) (表22. 2. 1)																																																																																																																																																																																																																								
種類	材料		厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																					
・盛土	標準仕様書 表3.2.1 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]		・図示																																																																																																																																																																																																																					
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン	・切込み砂利	・図示																																																																																																																																																																																																																					
・フィルター層	・砂		・図示																																																																																																																																																																																																																					
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)		整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																																																			
		樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)	・葉張り部分	・適用する																																																																																																																																																																																																																			
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高7m以上～12m未満 (※80 ・100)	樹高3m以上～7m未満 (※60 ・80)	・植栽部分	・適用しない																																																																																																																																																																																																																			
※芝、地被類	※B種	※30	樹高3m未満 (※50 ・60)	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																			
6	コンクリート工事	1	コンクリートの種類 (6. 2. 1)	コンクリートの類別 ※ I 類 (JIS A 5308「レディミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (I 類以外で JIS A 5308に適合したコンクリート)	2	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6. 2. 1～4) (6. 3. 2) (6. 10. 1, 2)	<table><tr><th colspan="5">※ 普通コンクリート</th></tr><tr><th>設計基準強度 (N/mm²)</th><th>スラブ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th><th></th></tr><tr><td>● 24</td><td>・標準仕様書 表6.2.21による</td><td>2.3程度</td><td>構造図による</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造体強度補正値 ※標準仕様書表 6.3.21による ・ 構造図による <table><tr><th colspan="5">※ 軽量コンクリート</th></tr><tr><th>設計基準強度 (N/mm²)</th><th>スラブ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・</td><td>※ 21</td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td>構造図による</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造体強度補正値 ※標準仕様書表 6.3.21による ・ 構造図による	※ 普通コンクリート					設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所		● 24	・標準仕様書 表6.2.21による	2.3程度	構造図による		・					※ 軽量コンクリート					設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所	・	※ 21		・1類 ・2類	構造図による	・					3	セメント (6. 3. 1)	種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [6] 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 [6] 適用箇所 ()	4	骨材 (6. 3. 1)	アルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m³以下)	5	混和材料 (6. 3. 1)	● 混和剤 ・ 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・構造図による ・ 混和材 ・ 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・構造図による	6	無筋コンクリート (6. 3. 1) (6. 14. 1)	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 適用箇所 ・ 標準仕様書 6.14.1(4)(ア) (イ)による ● 構造図による 設計基準強度F_c (N/mm²) ※18 ● 24 スラブ ※ 15 又は 18 セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [6] ・フライアッシュセメントB種 [6]	7	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) (6. 8. 1)	打継ぎの位置 ※ 標準仕様書 6.6.4(1)による ・ 構造図による 目地寸法 ※ 標準仕様書 9.7.3(1)による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ※ 図示による	8	コンクリートの仕上り (6. 2. 5)	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 表6. 2. 4 <table><tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・A種</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</td></tr><tr><td>・C種</td><td></td></tr></table>	種類	適用箇所	・A種		・B種	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	・C種		9	打増し厚さ (6. 8. 1)	打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ※ 20mm ・ ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外壁タイル後張り面の打増し処理 ※ 20mm ・ ・床型枠用鋼製デッキプレート の梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ※ 10mm ・20mm ・	10	型枠 (6. 8. 2)	せき板の材料及び厚さ ※ 合板 (※ 12mm ・) [6] (但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示にある合板型枠を用いる場合に限る) コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は強度、変形等について、事前に監督職員と協議する。 ※メッシュ型枠 (使用部位 ※構造図による) ・床型枠用鋼製デッキプレート (施工範囲 ※ 構造図による) スリープの材質・規格等 ※ 構造図による 断熱材兼用型枠 ・使用する ※ 25mm 以下かつ熱抵抗値1m²℃/kCal 以上 ・ ● 使用しない	11	コンクリートの試験 (6. 9. 1～5)	コンクリートの単位水量測定 ・行わない ● 行う 実施要領 ※ 構造関係共通事項による ・	7	鉄骨工事	1	鉄骨の製作工場 (7. 1. 3)	製作工場の加工能力 ※ 建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び、(株) 全面鉄骨評価機構 (旧 (社) 全面鉄骨工業協会) の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・J ・R ※W ・H ・S) グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)																																																																																																																																	
※ 普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																								
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																					
● 24	・標準仕様書 表6.2.21による	2.3程度	構造図による																																																																																																																																																																																																																					
・																																																																																																																																																																																																																								
※ 軽量コンクリート																																																																																																																																																																																																																								
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																				
・	※ 21		・1類 ・2類	構造図による																																																																																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																																																																																								
種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																							
・A種																																																																																																																																																																																																																								
・B種	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種																																																																																																																																																																																																																							
・C種																																																																																																																																																																																																																								



附 近 見 取 図

鳥取県
令和8年度
J2600080
西部環境建築局

工事名
県立日野高等学校根雨校舎グラウンド南東（JR）側フェンス新設工事

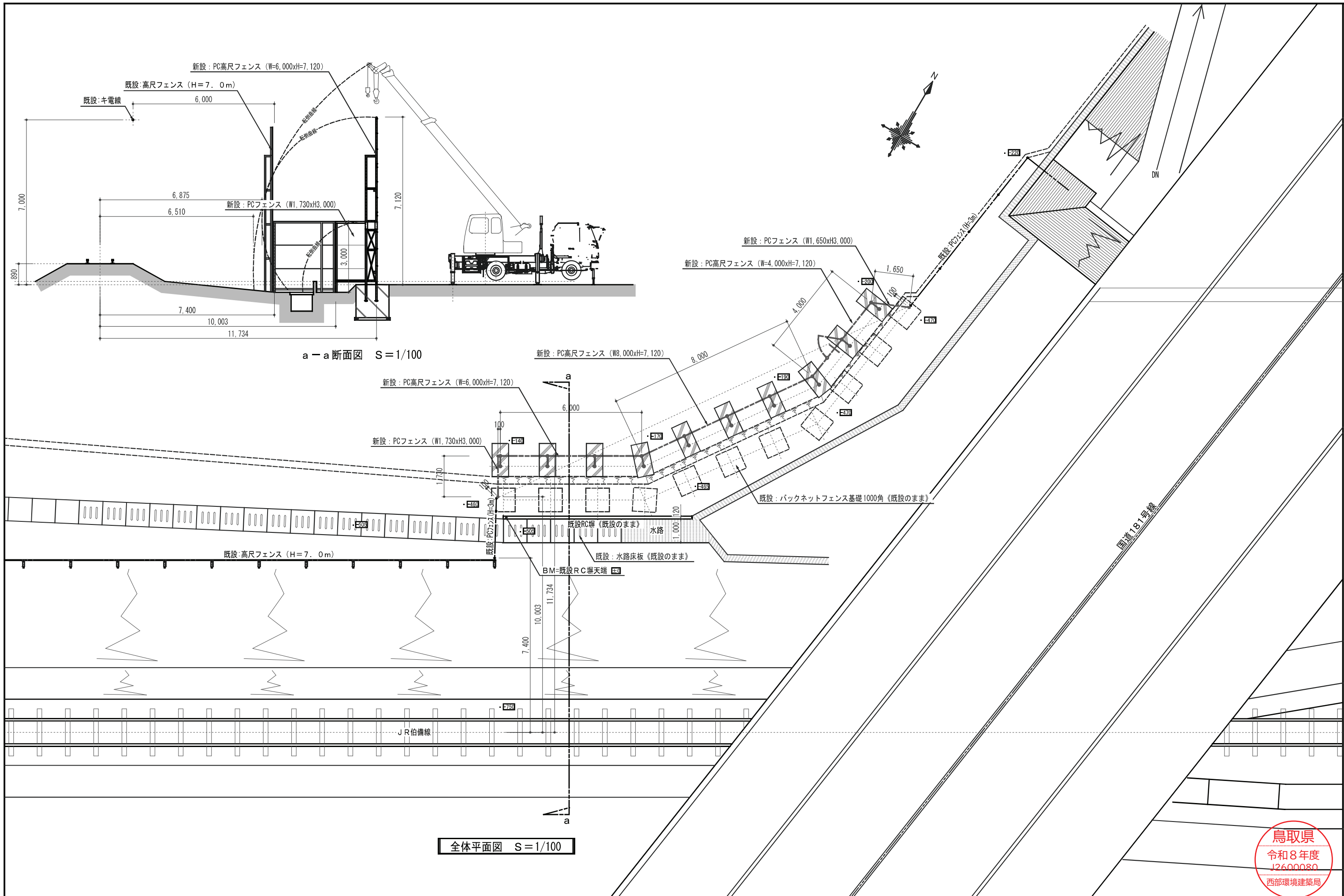
図面名称
附近見取図

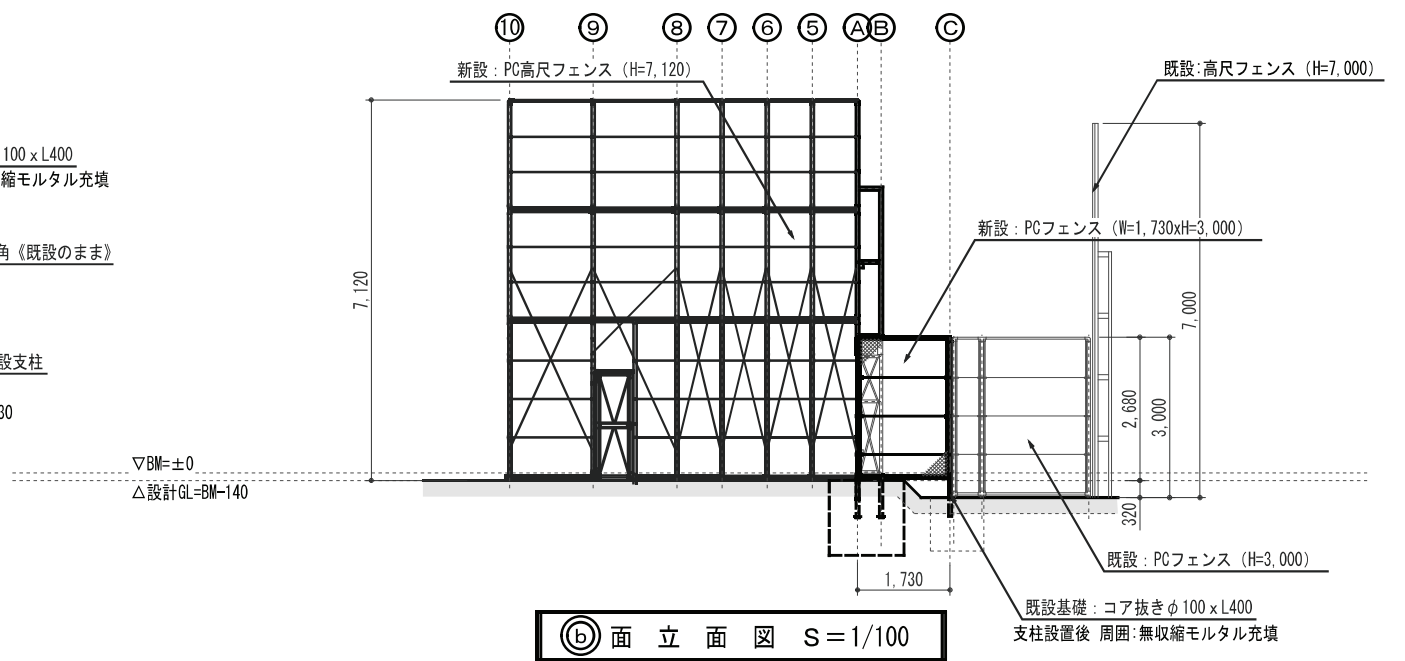
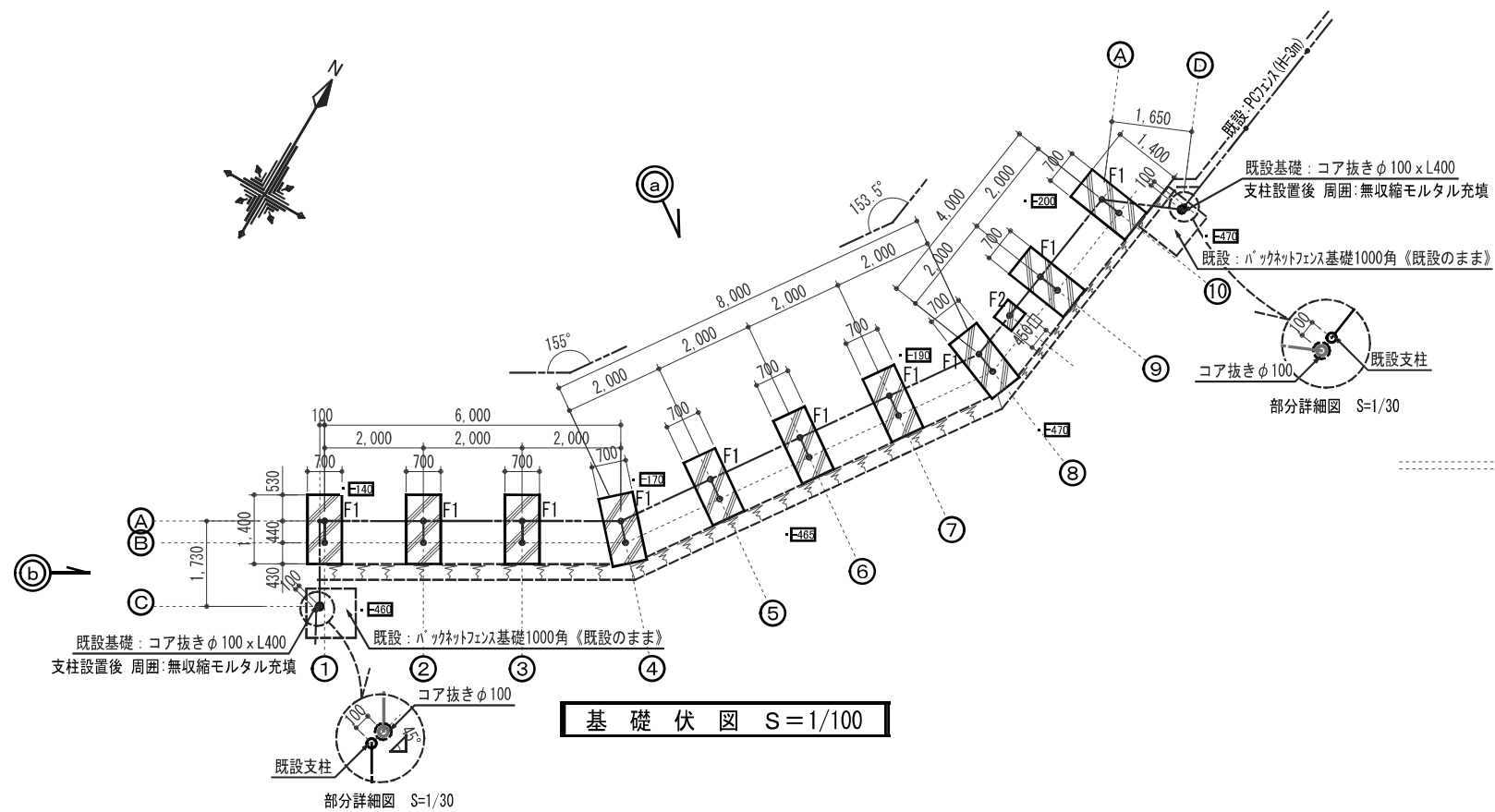
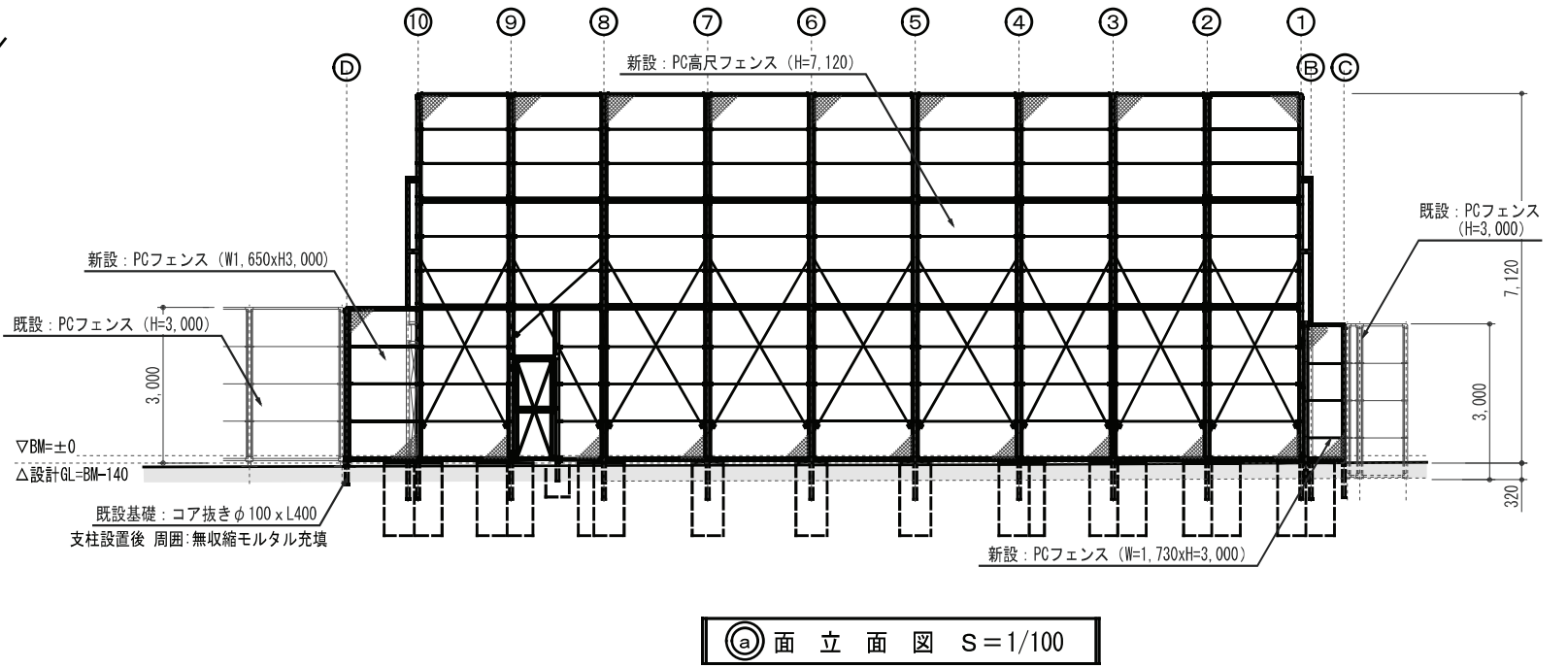
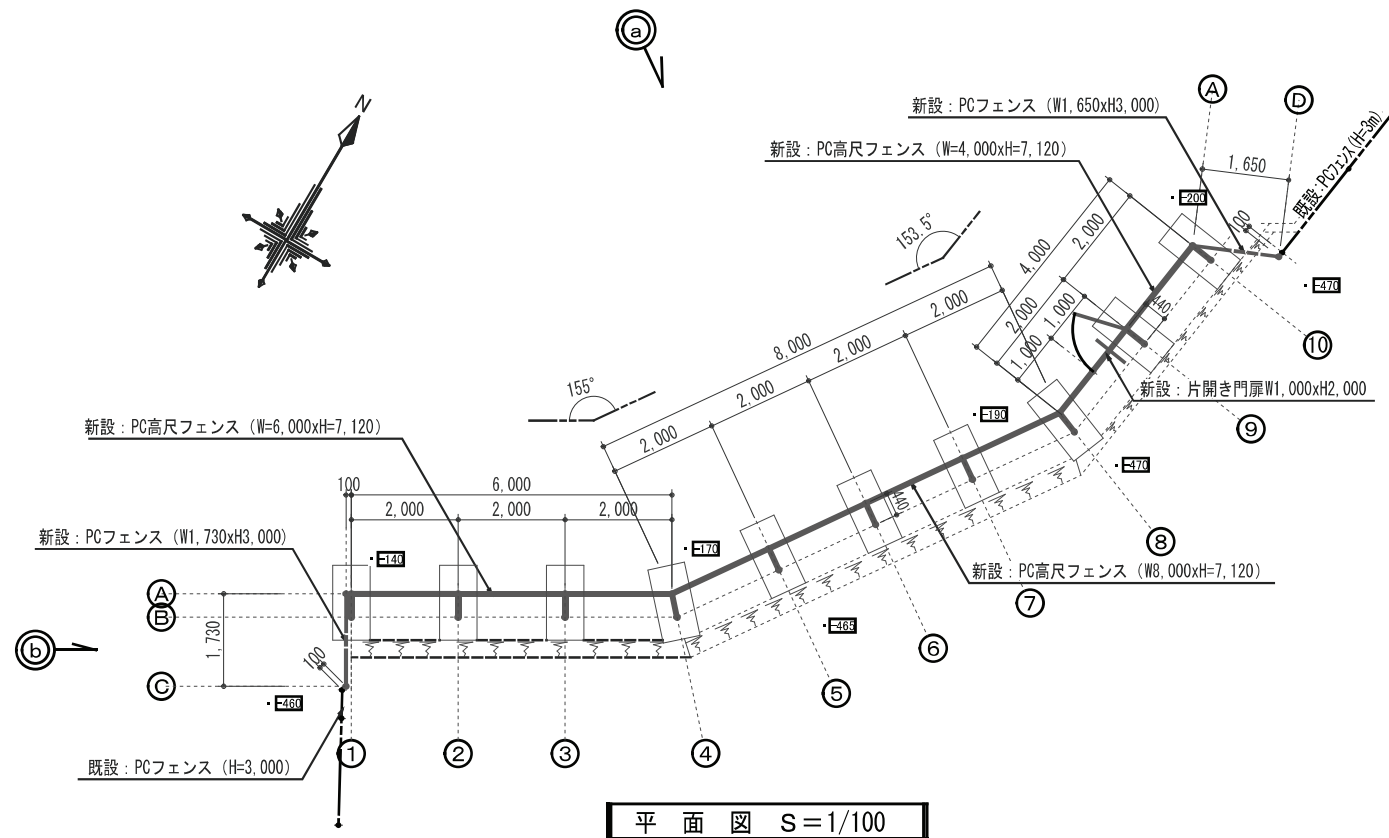
検図	製図	DATE	スケール
		R08.08	NOSCALE

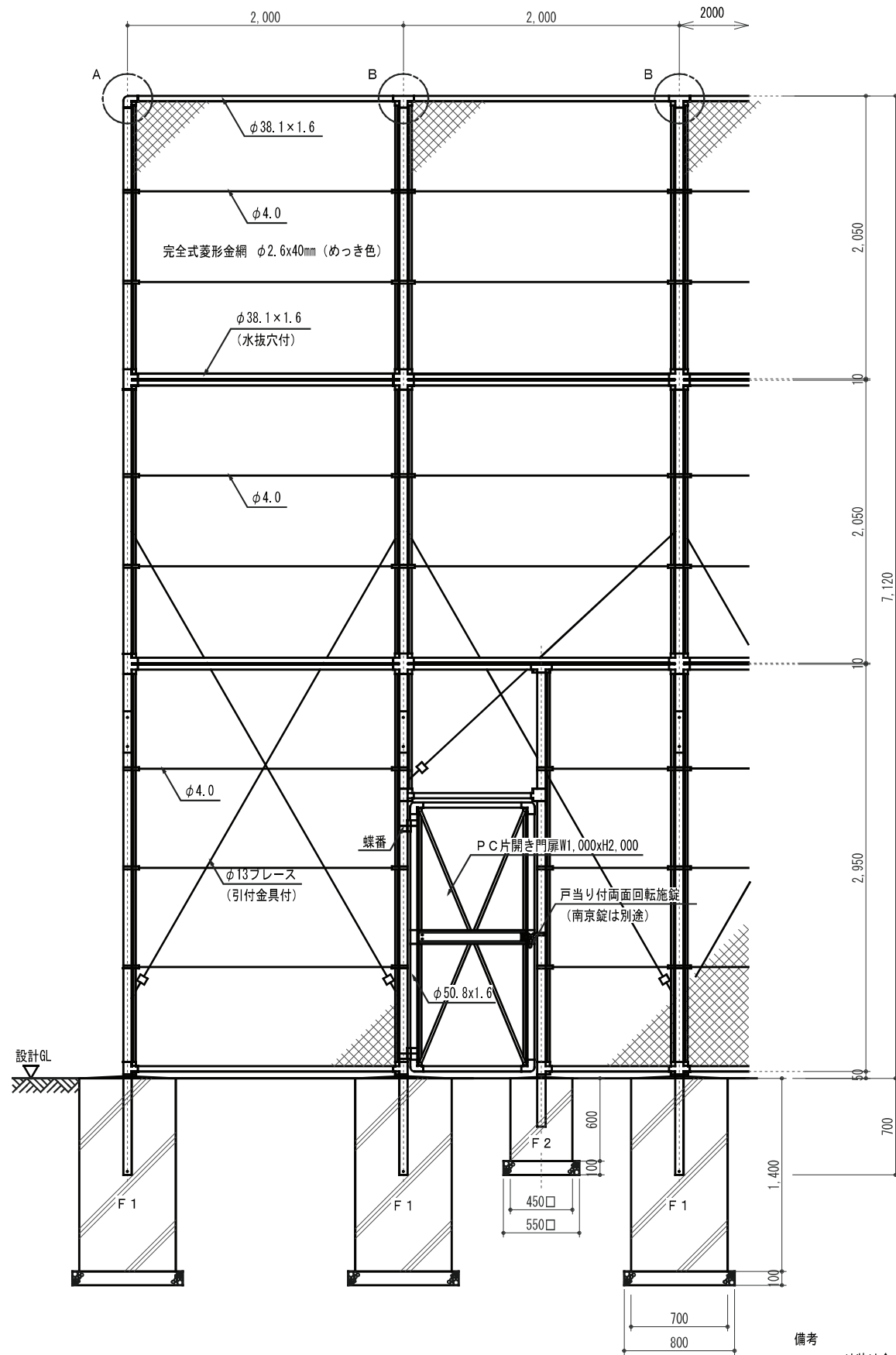
美保建築工房
鳥取県鳥取市吉成2-10-22
山本 孝幸 一級建築士登録第229782号
TEL (0857) 29-5363 FAX (0857) 30-0303

A-04



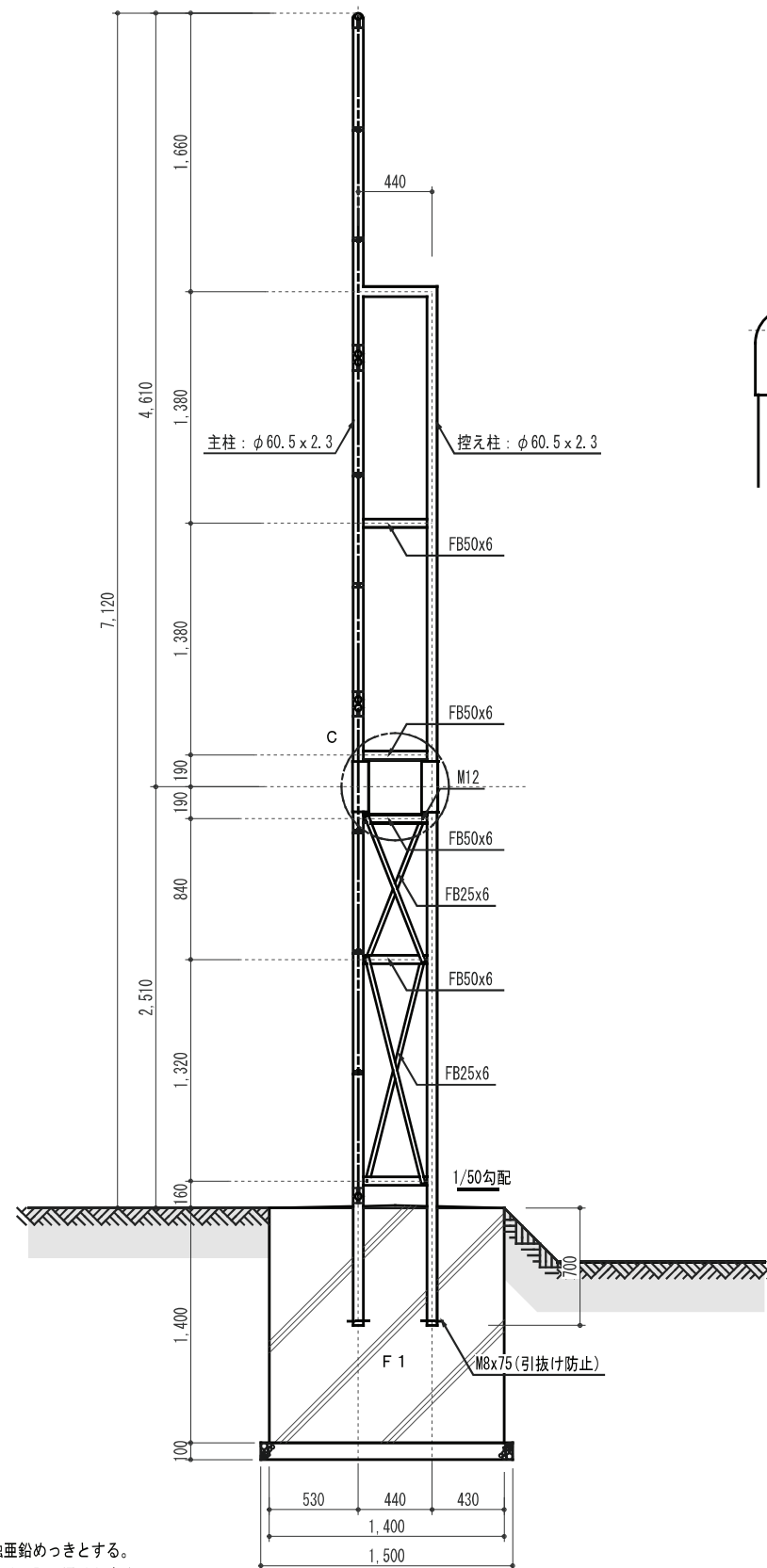




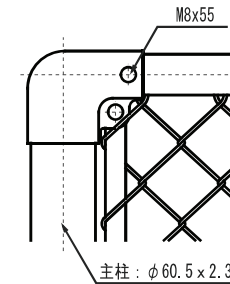


フェンス(7.12m)詳細図 S=1/30

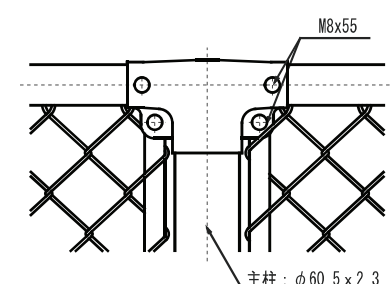
- 備考
1. 外装は全て溶融亜鉛めっきとする。
 2. 本柵の金網規格は下記の通りとする。
φ2.6×40mm (めっき色)
 3. コンクリート設計基準強度24N/mm²、スランブ15cmとする
 4. 上記に打設時期により温度補正を加えた呼び強度で打設を行う。
 5. 基礎天端は1/50勾配を確保すること。
 6. フェンス詳細図は参考図とする



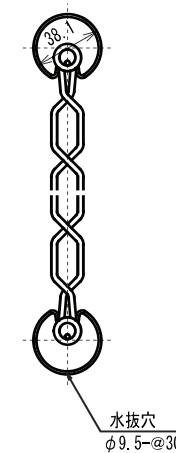
A部取付図 S=1:5



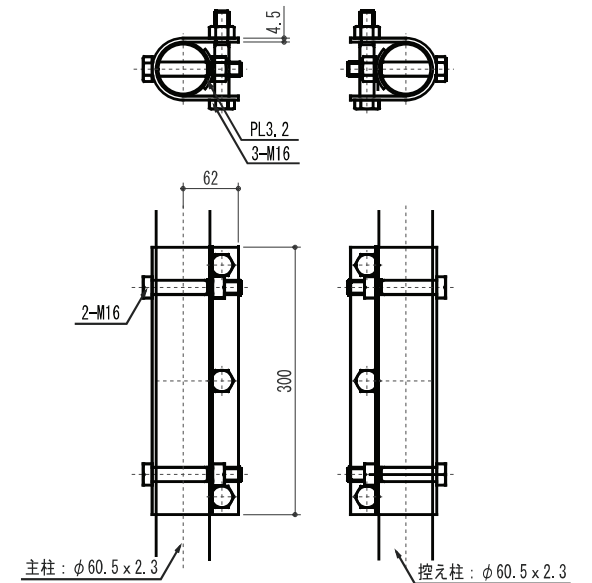
B部取付図 S=1:5

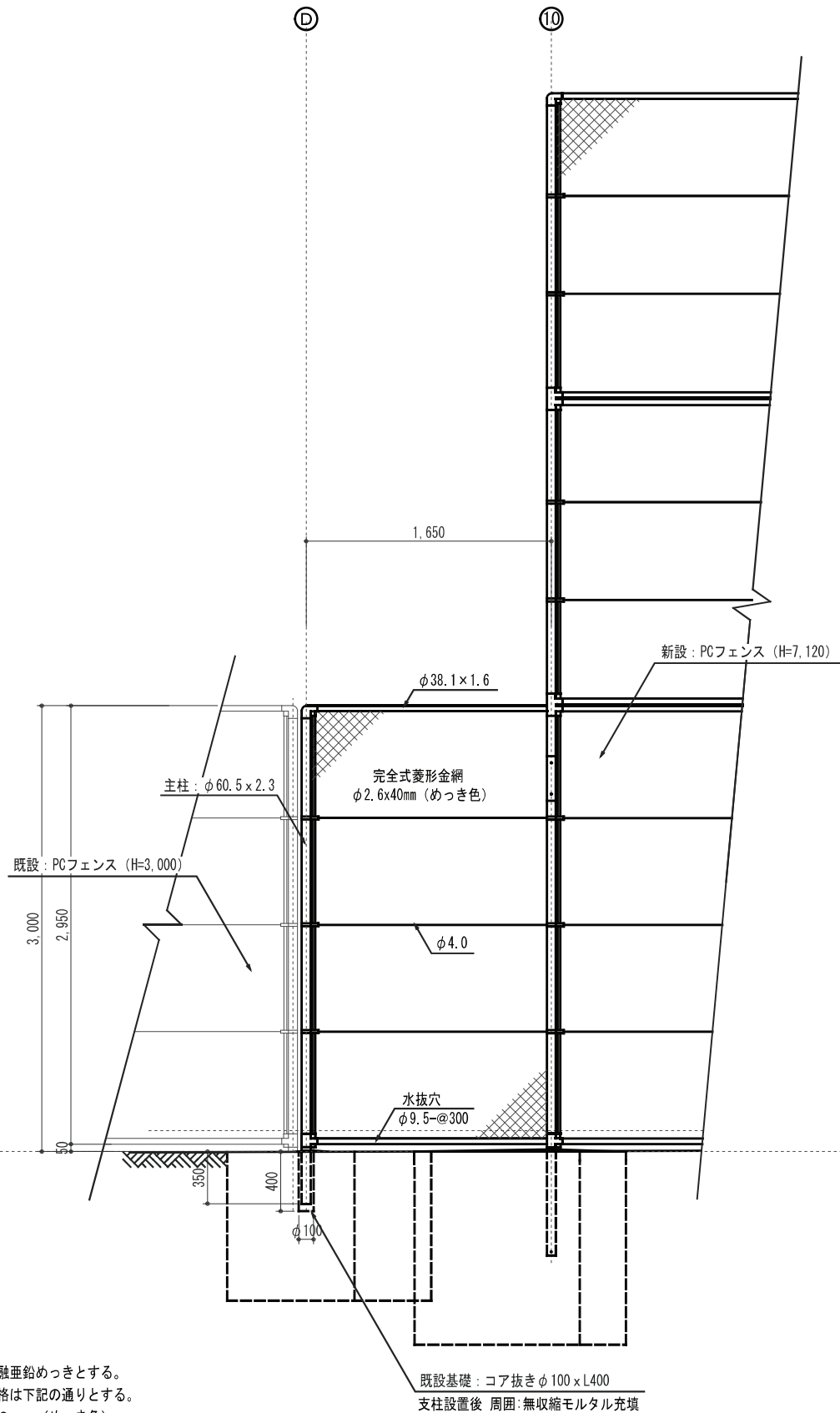
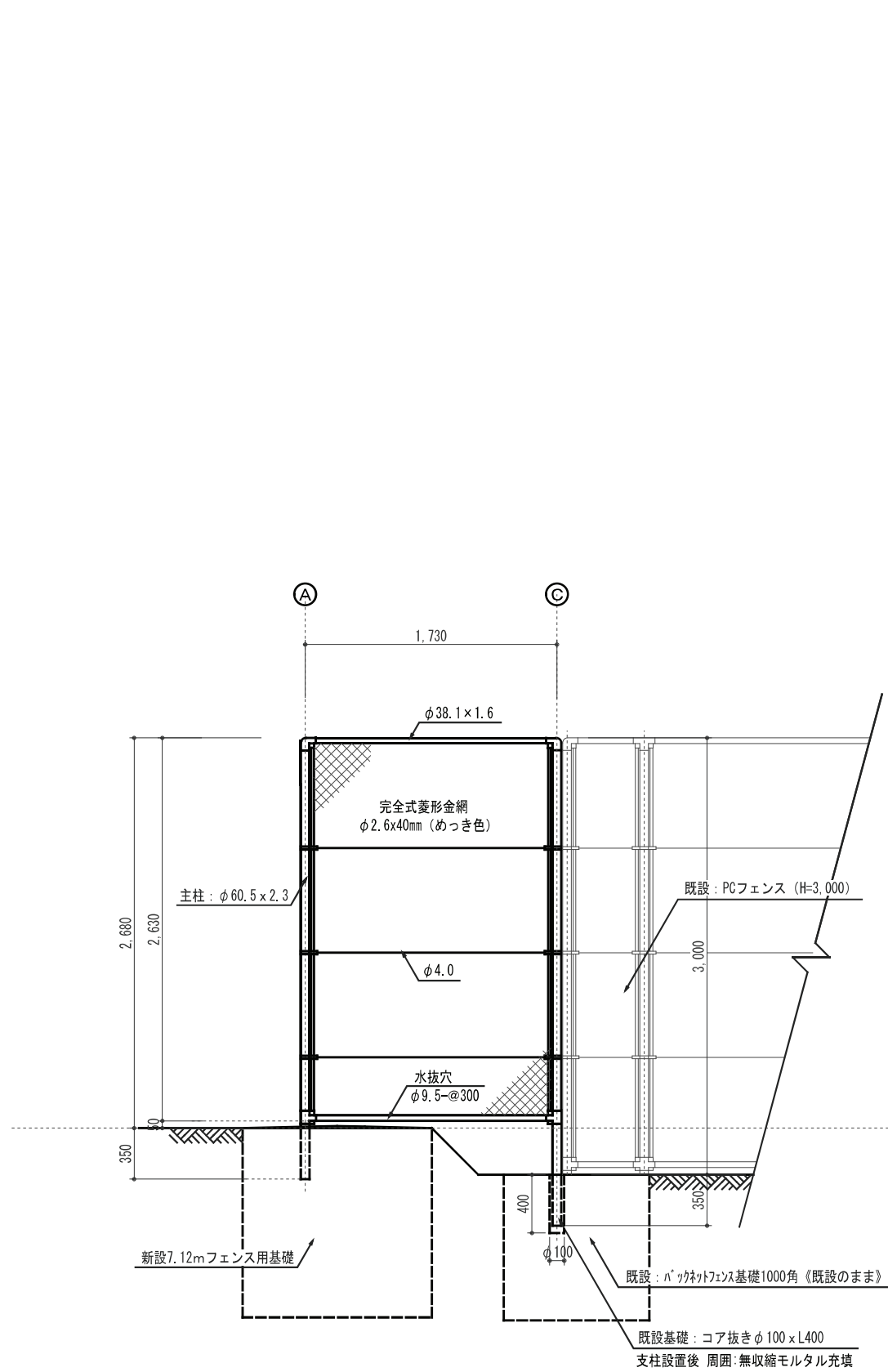


胴縁に金網取付断面図 S=1:3



C部取付図 S=1:6





- 備考
1. 外装は全て溶融亜鉛めっきとする。
 2. 本柵の金網規格は下記の通りとする。
φ2.6×40mm (めっき色)
 3. フェンス詳細図は参考図とする

フェンス (3.00m) 詳細図 S=1/30

